

東 京 経 済 大 学

地域連携センター

TKU Center for Regional Collaboration

2019年度 年次報告書

C o n t e n t s

はじめに

地域連携センター 2019 年度年次報告書の発行にあたって・・・2

I. 地域連携センター・・・3

1. 事務体制

2. 事業報告

(1) 行事一覧

(2) 事業計画

(3) 地域連携センター利用状況

(4) 情報発信

(5) 地域連携センター運営委員会

(6) 地域連携センターイベント

(7) 特命講師の活動実績

(8) 地域連携センター後援サークル「こくスマ!」の活動報告

II. 地域連携・・・29

1. 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会

2. 国分寺周辺地域活動費助成事業

3. 学生の社会貢献活動に対する助成事業

III. 産学連携・・・43

IV. 学生の社会貢献活動・・・46



地域連携センター 2019 年度年次報告書の発行にあたって

東京経済大学地域連携センター（TKU Center for Regional Collaboration : CRC）は、本学の社会貢献および産官学の連携の窓口、およびそれらを促進していくための機関として設置されたものです。2015 年度に本学 1 号館 2 階に専用オフィスを開設し、専任職員および臨時職員による常駐体制を維持しています。また、当センターの運営を審議する機関として地域連携センター運営委員会が設置されています。

本学の生涯学習等における地域社会への貢献は長い歴史がありますが、今世紀に入り 2004 年 10 月、大学の社会貢献の方針をより明確にし、地域課題の解決をめざす研究や学生の地域参加を一層促進するため、国分寺市および国分寺市商工会の三者で相互に協力・連携する協定（東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会）を締結しました。同協定に基づいて、まちづくりにかかわる共同研究やシンポジウムなどの開催、ゼミやサークル単位での地域活性化等をめざした地域貢献活動、「地域インターンシップ」や「学生の地域貢献」というユニークな授業運営などに取り組んできています。

これまで約 5 年にわたる当センターの業務を通して、大学にお寄せいただく社会からのニーズや連携のお誘いは格段に増加し、社会からの期待感を感じるどころです。また、その情報を学内の諸団体（ゼミ・サークル等）、教職員・学生へ適切につないでいくハブ（HUB）としての機能も定着してきており、学内における存在感も年々大きくなっていると思います。

本学は、著名な起業家であり大実業家であった大倉喜八郎や渋沢栄一ら建学に関わった先人たちの想いを受け継ぎ、建学の理念である「進一層」の気概を「考え抜く実学。」のコンセプトに込めて発信しています。その意味でも、地域社会および産官学の連携を通じて「机上での学び」と「実践的な活動」との交流およびフィードバックを往還的に進めていくことがますます重要になってきます。

2019 年度は、従来からのゼミ・サークル等の学生の支援事業に加え、当センターとして支援・後押ししてきた国分寺地域を基盤にした課題解決型ボランティアサークルの成長がめざましく、今後の活躍が期待されます。

最後になりましたが、こうした活動を通じて、学生に“活きた”現場での学びの機会を提供して下さった関係者の皆様に心から感謝申し上げます。当センターとしても社会と大学をしっかりとつないでいくパイプ役として、一層努力して参りたいと存じます。これからもご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

2020 年 3 月

地域連携センター運営委員長

尾崎 寛直（経済学部准教授）

I. 地域連携センター

1. 事務体制

地域連携センター（TKU Center for Regional Collaboration）は2015年11月から窓口業務をスタートしました。常駐職員2名体制で、外部機関等及び本学教職員・学生からの情報収集ならびに双方への情報発信、シンポジウム・フォーラム・研究会などの準備・運営、本学教職員・学生の地域連携・社会貢献活動への支援を行います。1号館2階にあり、本学教職員・学生が学外関係者とのミーティングなどに使用することもできます。

窓口時間：原則として、土・日・祝日を除く授業実施期間中の9：00～17：00

URL：<https://www.tku.ac.jp/renkei/area-center/>

①管理業務

- ・オフィスの鍵・物品・資料等の管理
- ・予算管理
- ・文書管理
- ・備品等の調達
- ・オフィスの整理

②委員会等事務

- ・地域連携センター運営委員会
- ・東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会
- ・東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会運営委員会
- ・国分寺地域インターンシップ・学生地域参加実施委員会
- ・その他、東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会に係る委員会

③外部機関との連携窓口

- ・国分寺市
- ・国分寺市商工会
- ・多摩信用金庫
- ・西武信用金庫
- ・地域の企業、団体及び市民

④学内での窓口業務

- ・教職員への連絡・案内
- ・地域活動をするゼミ・サークルへの連絡・案内、全学生への情報提供
- ・他部署との連携・調整

⑤事務作業

- ・学内外のイベント準備・運営（シンポジウム、フォーラムなど）
- ・掲示物、看板等の作成・管理
- ・ホームページの作成・管理



案内看板（1号館1階）



掲示板（地域連携センター前）



地域連携センター入口



地域連携センター事務室



会議・作業スペース



応接コーナー

地域連携センター使用に関する内規

(目的)

第1条 この内規は、東京経済大学地域連携センター規程第2条に基づき、地域連携及び産学連携を目的とした地域連携センター（以下「センター」という。）の使用に関し、必要な事項を定める。

(管理)

第2条 センターの管理は、地域連携センター運営委員会の下、総合企画部総合企画課が行う。

(使用範囲)

第3条 センターの設備等の使用範囲は、次の各号のとおりとする。

- (1) 作業・ミーティング用テーブル
- (2) 打合せブース
- (3) 書庫（資料等保管用）
- (4) 物品収納スペース
- (5) 備付けの文房具

(使用資格)

第4条 センターの使用資格は、次の各号の者とする。

- (1) 本学の教職員
- (2) 本学の学生
- (3) 本学が許可した者

(使用日時)

第5条 センターの使用は、原則として土・日・祝日を除く授業実施期間中の午前9時から午後5時までとする。そのほかの日時での使用に関しては、必要に応じて個別に対応する。

(使用手続)

第6条 センターの設備等を使用する際は、センター窓口で申請の上、許可を得るものとする。

2 第3条第1号及び第2号について、複数のグループから同日・同時間帯での使用申請があった場合は、申請順に使用を認める。10名以上で使用する場合には、あらかじめ日時・人数・目的等を申し出て予約することができる。

(使用心得)

第7条 センターの使用に当たって、使用者は次の各号を遵守しなければならない。

- (1) 室内での飲食・喫煙禁止
- (2) 室内での騒音及び携帯電話・スマートフォン通話禁止
- (3) 機器・備品・物品等の室外持ち出し禁止
- (4) 第1条に規定する目的以外の使用禁止

- (5) その他公序良俗に反する行為の禁止
- (6) 整理整頓に心がけ、使用した機器・備品・物品等は元の状態・場所に戻すこと
- (7) 室内を清潔に保ち、使用後は清掃を行うこと
- (8) 教職員の指示に従うこと

2 使用者は、前項に規定する義務を怠り、故意又は重大な過失により設備・備品等に損害を生じさせた場合は、その損害を弁償しなければならない。

(使用禁止)

第8条 次の各号に該当する者には、センターの使用を禁止し、使用中でも使用を中止させることがある。

- (1) センターの秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼす行為をした者
- (2) 教職員の指示に従わない者

(賠償義務)

第9条 使用者の責に帰すべき事由により設備等に損害を与えた場合は、本学が損害額を認定し使用者が負担するものとする。ただし、本学がやむを得ないと認めた場合はこの限りでない。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、地域連携センター運営委員会及び大学運営会議の議を経て学長が行う。

付 則

この規程は、2015年（平成27年）11月26日から施行する。

2. 事業報告

(1) 行事一覧

①委員会

2019. 5. 8	第 1 回 地域連携センター運営委員会
2019. 5. 31	第 18 回 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会
2019. 6. 5	第 2 回 地域連携センター運営委員会
2019. 11. 20	第 3 回 地域連携センター運営委員会
2020. 3. 17	第 4 回 地域連携センター運営委員会
2020. 3. 19	第 27 回 国分寺地域インターンシップ・学生地域参加実施委員会

②シンポジウム、イベント

2019. 5. 31	第 8 回 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会フォーラム
2019. 7. 12	知財活用スチューデントアワード キックオフ会
2019. 9. 16	CELEO 寄席（落語研究会）
2019. 9. 30	第 1 回 CRC カフェ（ボランティアサークルClover による活動報告）
2019. 10. 15	第 2 回 CRC カフェ（こくスマ！によるイベントの開催）
2019. 11. 12	知財活用スチューデントアワード ブラッシュアップ会
2019. 12. 4	こらぼ de サロン シンポジウム
2019. 12. 20	第 3 回 CRC カフェ（「国分寺の緑地を守る活動」講師：学務課 石原さん）
2020. 1. 18	CELEO 新春寄席（落語研究会）

(2) 事業計画

1. 2019 年度までの事業の概要

東京経済大学地域連携センター（CRC。以下、センター）に専任職員 1 名、臨時職員 1 名の体制で常時窓口業務が開始されてから丸 4 年が経過したことになる。地域社会や産業界等との対外的な窓口が正式に発足したことで、学外諸機関から寄せられる各種情報は格段に増え、それを一括管理して学内の適切な主体へ効果的につなぎ、ゼミやサークル等の学生の地域参加を支援する対応が日常的に可能になった意義は大きい。その結果、ボランティア活動や産学連携のコンテスト、学外諸機関とのコラボレーション事業等に参加する学生の数ははるかに増加し、大学の机上だけではない、地域社会というあらたな学びの「場」が醸成されてきたといえる。

また、地域連携支援担当の特命教員 1 名の採用（2017 年度～）により、上記の対応機能が強化され、「実社会における問題解決力を鍛える」（特別ゼミ）の開講など、正課の授業とも連動しながら学生の地域参加の機会を増やすことができるようになった。

このようなことをふまえ 2019 年度は、従来からのゼミ・サークル等の学生の支援事業に加え、国分寺地域を基盤にした課題解決型ボランティアサークル「こくスマ！」の成長・発展を後押しできたことは特筆できる。「国分寺のスマイルを創り出す」目的で活動するこくスマ！は、昨年度から始めた「ぶんじコンシェルジュ」事業について、今年度から平日 17～19 時の毎日、国分寺駅北口の案内所に常駐し、来訪者に対して国分寺の街の魅力や観光の案内、イベントの情報提供など（外国人客に対しては、英語での対話案内も可能）、シティ・セールスの PR 活動に市観光協会と共同で取り組んでおり、地域活性化に大きな貢献を果たしているといえよう。これにより、本学内では、既存の文化会所属ボランティアサークル（Clover）とこくスマ！が両輪として、地域の課題別に学生の地域参加・協力を牽引するかたちが実現している。

以上のことをふまえた新しいセンターのパンフレットが 2019 年度中に発行予定である。

2. 2020 年度事業計画

センターの事業の柱としては、やはり①産官学連携による交流事業の促進、②地域のニーズに応える協働活動の拡大、③学内外への情報発信、の三本柱に集約されるだろう。具体的には以下のような計画が挙げられる。

①産官学連携による交流事業の促進

地域社会を支える産業界や行政などと地域活性化やまちづくりなどの課題に、大学の教職員・学生が関わっていくことは、教員の研究にとっても大学教育にとっても大きな意義を有する。とくに学生にとっては、机上では得がたい実践的な学びの機会を経験することができ、地域社会との関わりを自らの成長の糧とすることもできるため、一層取り組みを進めていく必要がある。

この点では、地域金融機関との連携によるアイデアコンテストへの出場チームを増やしていく取り組み、上述の観光協会と連携した「ぶんじコンシェルジュ」事業の継続的発展のための支援、ゼミ活動と企業・行政とのマッチング、などにさらに注力する必要がある。

②地域のニーズに応える協働活動の拡大

地域の企業、団体、行政などの抱える課題について、大学の知的資源を活かして課題解決に貢献していくことは、大学の社会的責任でもあり、大学に対する地域社会の信頼感を高めていくことにもつながる。とくに、2020年東京オリンピック・パラリンピックも予定されているなかで、訪日外国人・外国人労働者の増加による地域社会でのニーズもさまざま発生している。いわば「内なる国際化」にも対応した地域貢献を積極的に進める必要がある。

この点では、既存のボランティアサークルのキャパシティ低下により、外部から寄せられるニーズに必ずしも対応できない状況も発生しており、サークル側への直接間接の支援が必要であろう。また、教職員、学生団体へ助成している活動支援資金についてもさらに効果的な活用方法を検討する必要がある。

③学内外への情報発信

2019年度から従来のメール、ポータルなどの連絡手段に加えて twitter 等の通信手段の活用などにより情報を周知する工夫もしているが、その点は引き続き強化しつつ、学生の地域参加の機会を増やすための活動の「見える化」が求められる。

また、センター主催および国分寺市との地域連携推進協議会が主体となったシンポジウムやフォーラムなどの開催後に、報告資料として残していくことがこれまで十分ではなかった。昨年来課題としているが、活動・成果報告を掲載する媒体（一例『地域連携センター研究双書』）を年1冊以上は定例で発行できるよう努力していく。

センターの自主的な活動として、CRC café（昼講座）を定例で行っている。ゼミや学生団体に所属していない学生でも気軽に地域連携事業の魅力に触れられるような機会として重要であるが、参加者をさらに増やしていく必要がある。

なお、本学ホームページが昨年末にリニューアルし、地域連携の紹介はトップページにも上がるようになった。今後、SDGsの取り組みの一環としても、ホームページを利用した発信を強化していく必要がある。

以上

(3) 地域連携センター利用状況 (2019年4月～2020年3月)

【会議・作業スペース利用者】

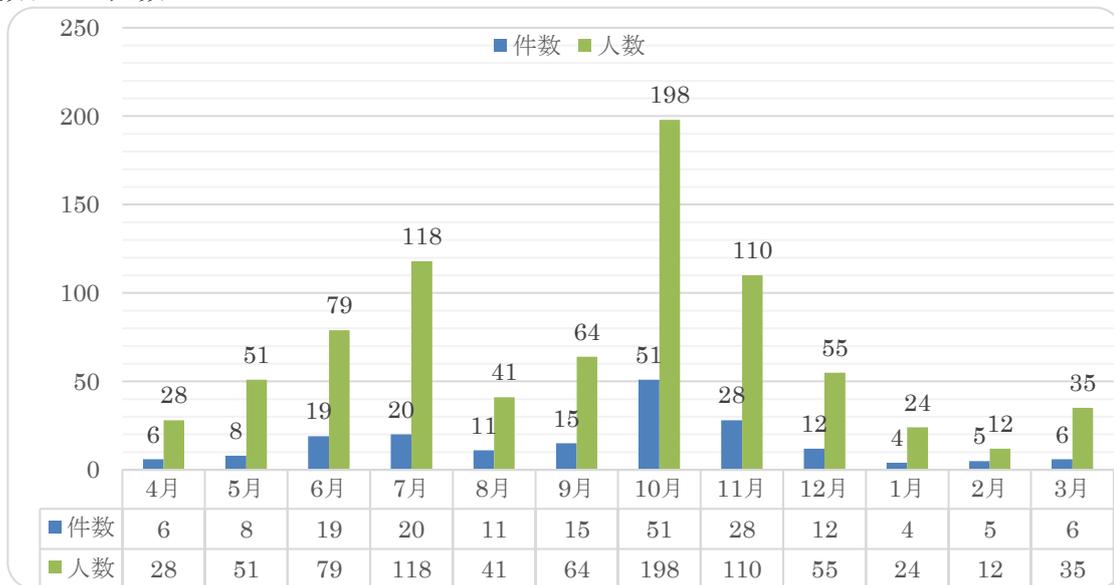
学 生：ゼミ（尾崎ゼミ、小木ゼミ、鈴木恒雄ゼミ、鈴木恒雄特別ゼミ、他）

授業「学生の地域貢献」履修生

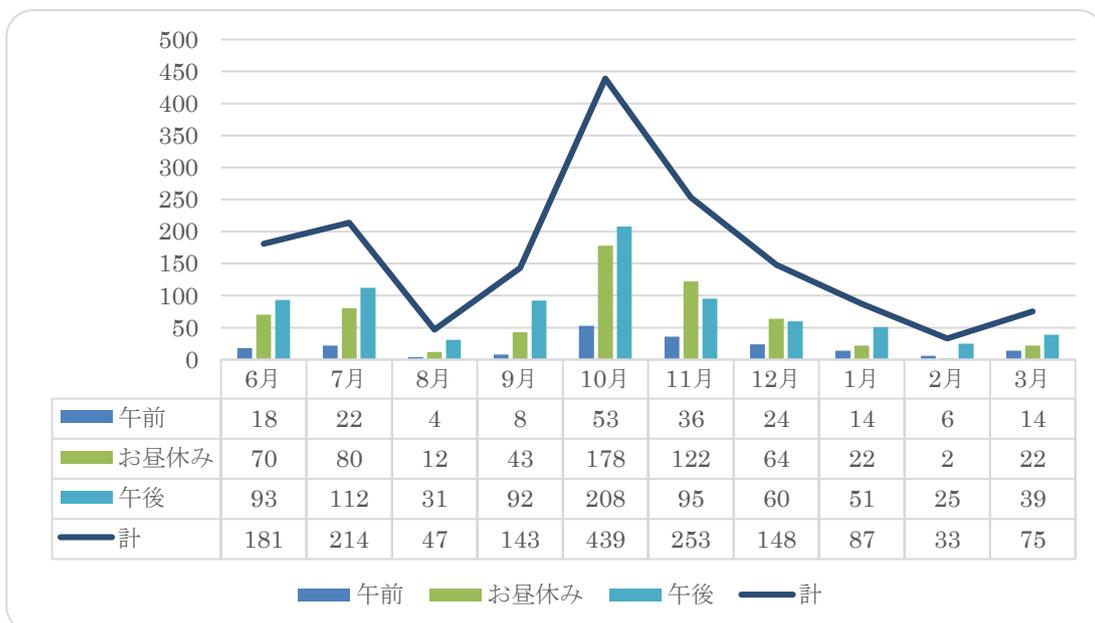
サークル（こくスマ！、ボランティアサークル Clover、他）

学外者：国分寺市（政策経営課、市政戦略室、協働コミュニティ課、文化振興課、経済課、スポーツ振興課、地域共生推進課、まちづくり推進課、駅周辺整備課）、国分寺市商工会、国分寺青年会議所、国分寺市観光協会、国分寺市国際協会、多摩信用金庫、西武信用金庫、ボランティア活動センターこくぶんじ、こくぶんじ市民活動センター、南栄商店会、他

利用件数および人数



【時間別来室者数（職員を除く）】



(4) 情報発信

①ホームページへのニュース掲載

年月日	タイトル
2019. 5. 7	【予告】5月31日 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会フォーラム「スポーツによる健康のまちづくり」
2019. 5. 20	尾崎ゼミが障がい者団体とコラボしてスイーツを販売
2019. 6. 7.	【予告 7/5(金)】第5回「21世紀の多摩学」多摩地域の工業～国際化の狭間で
2019. 6. 18	「ぶんじコンシェルジュ基礎研修」開催報告
2019. 7. 1	第3回ぶんじふれあい市にこくスマ!の「ぶんじコンシェルジュ」が参加しました
2019. 7. 3	第8回東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会フォーラムを開催
2019. 7. 8	【予告 8/7(水)】第6回「21世紀の多摩学」多摩地域の交通～都市拡大から成熟社会化へ
2019. 9. 19	国分寺地域活性化イベント「ぶんじバル」参加報告
2019. 9. 24	立川南フェスタ 2019 参加報告
2019. 9. 25	落語研究会「楽しい落語」開催報告
2019. 9. 25	落語研究会「CELEO 寄席」開催報告
2019. 9. 26	【読売新聞 9/25】鈴木恒雄ゼミ企画のイベント「こくめし」が写真付きで紹介されました
2019. 9. 30	2019年度 第1回 CRCcafe 開催報告
2019. 10. 15	2019年度 第2回 CRCcafe 開催報告
2019. 10. 28	本学卒業生4人が所属する荒川ケンタウロス（国分寺市観光大使）が史跡武蔵国分寺跡金堂跡で記念ライブを開催しました
2019. 11. 5	葵祭（学園祭）での地域活動報告
2019. 11. 7	第36回 国分寺まつり活動報告
2019. 11. 12	第6回ぶんじハロウィン参加報告
2019. 11. 12	小木ゼミがTFT実施に向けて試食会を開催～11月25日（月）販売開始
2019. 11. 20	国際交流フェスタ 2019 活動報告
2019. 11. 20	ぶんぶんウォーク 2019 参加報告
2019. 11. 22	地域の活性化を目指して～経営学部青木ゼミが研究成果を発表
2019. 11. 29	北村真琴・神原ゼミの2チームが「知財活用スチューデントアワード」本選に進出
2019. 12. 4	「こくベジのじかん」参加報告
2019. 12. 12	尾崎ゼミ コラボ実践販売活動
2019. 12. 17	キャリアデザインプログラム生所属の学生団体「TKU Unlimited」が日本のフードロスに関するイベントを共催
2020. 3. 2	”国分寺市の新たなまちづくり”を考えるシンポジウムに東経大生が登壇

②TKU ポータル（学生向け）、サイボウズ掲示板（教職員向け）での情報発信

年月日	カテゴリー	タイトル
2019. 4. 12	地域情報	第 13 回国分寺市民活動フェスティバル開催のお知らせ
2019. 4. 26	オリンピック	東京 2020 オリンピック観戦チケット抽選申込の受付のお知らせ
2019. 4. 26	地域情報	国分寺市芸術文化振興事業補助制度のご案内
2019. 4. 26	地域情報	国分寺市ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座
2019. 4. 26	地域情報	第 35 回新緑まつり 青木亮ゼミナール展示のお知らせ
2019. 5. 16	その他	【5/31 開催】第 8 回協議会フォーラム スポーツによる健康のまちづくり
2019. 6. 6	地域情報	スマホアプリぶんじ ch に経済学部鈴木恒雄特命講師が紹介されました
2019. 6. 6	ボランティア	2019 夏体験ボランティア説明会のお知らせ
2019. 6. 10	その他	【アンケート協力依頼】経済学部鈴木特別ゼミ「東経大名物パンプロジェクト」
2019. 6. 11	オリンピック	東京 2020 組織委員会ウェブサイトリニューアルのお知らせ
2019. 6. 12	地域情報	尾崎ゼミによるコラボスイーツデモ販売のお知らせ
2019. 06. 18	その他	2019 年度知財活用スチューデントアワードのご案内
2019. 06. 19	地域情報	【6/22 開催】ぶんじふれあい市開催のお知らせ
2019. 7. 1	地域情報	第 2 回国分寺お店大賞～キラリ個性ピカリ個店 2019 開催のお知らせ
2019. 7. . 3	地域情報	多摩の学生まちづくり・ものづくりコンペティション 2019 説明会のお知らせ
2019. 7. 11	地域情報	尾崎ゼミによるコラボスイーツデモ販売のお知らせ
2019. 7. 16	地域情報	武蔵国分寺跡整備完了記念シンポジウム「史跡を使いたおせ！」開催のお知らせ
2019. 7. 16	オリンピック	東京 2020 オリンピック開催 1 年前記念パネル展開催のお知らせ
2019. 7. 16	地域情報	第 36 回国分寺まつり参加者募集
2019. 7. 18	地域情報	はあとふるまつり開催のお知らせ（鈴木恒雄ゼミ生参加）
2019. 7. 22	地域情報	経済学部 鈴木特別ゼミ×国分寺市商工会「こくめし」開催のご案内
2019. 7. 23	その他	地域連携センター夏季休暇期間スケジュール
2019. 8. 29	地域情報	国分寺野外シネマフェスティバル開催のお知らせ
2019. 9. 11	地域情報	落語研究会「セレオ寄席」開催のお知らせ
2019. 9. 19	地域情報	鈴木恒雄特別ゼミ「東経大名物パン開発プロジェクト」
2019. 9. 19	地域情報	立川南口フェスタ 2019 に鈴木恒雄ゼミが参加します。

2019. 9. 20	その他	地域連携センターお昼休み講座 第1回 CRCcafe(9/30 開催)のお知らせ
2019. 9. 24	地域情報	国分寺地域における里山保全普及活動のご案内
2019. 9. 30	その他	【創立 120 周年記念事業】「21 世紀の多摩学」第 7 回研究会開催のお知らせ
2019. 9. 30	その他	第 1 回 CRCcafe 開催報告 (ボランティアサークル Clover 活動報告)
2019. 10. 3	その他	おやこイベントボランティア募集・てのは市アルバイト募集 (PALETTE)
2019. 10. 4	オリンピック	組織委員会ニュースレター「2020 たより vol.13」発行のご案内
2019. 10. 9	地域情報	法政大学 多摩地域交流センターシンポジウムのご案内
2019. 10. 10	地域情報	税を考える週間記念講演のご案内
2019. 10. 11	地域情報	おたかの道湧水園 開園 10 周年記念イベント開催のお知らせ
2019. 10. 15	その他	第 2 回 CRCcafe 開催報告 (こくスマ!によるイベント開催)
2019. 10. 11	地域情報	おたかの道湧水園 10 周年イベント開催のお知らせ
2019. 10. 18	地域情報	第 36 回国分寺まつり開催のお知らせ
2019. 10. 18	地域情報	鈴木特別ゼミ×キニョン試食会のお知らせ
2019. 10. 18	地域連携	こくスマ!による葵祭フリーマーケット未使用品ご提供のお願い
2019. 11. 06	地域情報	ぶんぶんウォーク 2019 開催のお知らせ
2019. 11. 12	地域情報	国分寺市観光大使荒川ケンタウロスのライブ情報
2019. 11. 13	地域情報	小木ゼミ×TABLE FOR TWO×生協のご案内
2019. 11. 14	地域情報	11/14 尾崎ゼミによるコラボスイーツデモ販売のお知らせ
2019. 11. 15	地域情報	国分寺お店大賞のお知らせ (鈴木恒雄ゼミ)
2019. 11. 15	地域情報	第 4 回こらぼ de サロン・第 7 回国分寺物語シンポジウム合同開催のお知らせ
2019. 11. 20	地域情報	「こくぶんじカレッジ」成果発表会のお知らせ
2019. 11. 21	地域情報	第 41 回こくぶんじ写真コンクールのご案内
2019. 11. 21	地域情報	こくベジのじかん開催のご案内
2019. 11. 21	地域情報	落語研究会による葵名人会開催のお知らせ
2019. 11. 27	地域情報	鈴木特別ゼミ「東経大名物パンプロジェクト」アンケート協力依頼
2019. 11. 27	地域情報	TKU Unlimited による日本のフードロスに関するイベントのお知らせ
2019. 12. 13	オリンピック	東京 2020 ライブサイト出演者募集のご案内
2019. 12. 20	その他	第 3 回 CRCcafe 開催報告 (国分寺の自然に関する講座)

2020. 01. 09	地域情報	落語研究会「セレオ寄席」開催のお知らせ
2020. 1. 27	地域情報	「国分寺の未来を考えるシンポジウム 災害時に役立つ防災マップづくり」開催のお知らせ
2020. 1. 23	地域情報	国分寺村誕生 130 周年記念シンポジウム「魅力あふれる新たな「村」づくり」開催のご案内
2020. 1. 29	オリンピック	2020 大会に向けたパブリックビューイングガイドラインについて
2020. 2. 4	地域情報	「国分寺人（ビト）Vol12 写真展」開催のお知らせ
2020. 2. 10.	オリンピック	「東京 2020PR ツール」の更新及び、「2020 たより vol. 14」の発行について
2020. 2. 18	地域情報	「武蔵国 国分寺・府中 観光おもてなし講演会」開催のご案内
2020. 2. 26	オリンピック	組織委員会公式ウェブサイトのリニューアルについて
2020. 3. 6	オリンピック	東京 2020 大会 国分寺市聖火リレーサポーターを募集
2020. 3. 9	地域活動情報	鈴木恒雄ゼミがクラウドファンディングを活用して立川南口でまちづくりプロジェクト始動
2020. 3. 16	オリンピック	東京 2020 大会 国分寺市聖火リレーサポーターを再募集
2020. 3. 24	オリンピック	新型コロナウイルス感染症の拡大における東京 2020 組織委員会の発表内容について
2020. 3. 26	オリンピック	国分寺市聖火リレーサポーターの募集停止

③Twitter(@tku_crc)での情報発信

※2019年4月開設。学生の地域活動、地域のイベント、ボランティア募集等の情報を発信しています。

年月日	内容
2019. 4. 25	4月28日（土）武蔵国分寺公園で万葉花まつりが開催されます
4月ツイート	【国分寺市文化振興課】芸術文化振興事業補助制度募集 【こくスマ！】 史跡研修について
2019. 5. 7	5月17日（金）～19日（日）本多公民館で開催される新緑まつりに青木亮ゼミナールの展示が行われます。
2019. 5. 15	5月16日（木）尾崎ゼミによるコラボデモ販売のお知らせ
2019. 5. 15	国分寺市国際協会より日本語教室ボランティアの募集のご案内
5月ツイート	【こくスマ！】ぶんじコンシェルジュ講習
2019. 6. 6	学生向けの夏体験ボランティアの説明会のご案内
2019. 6. 20	6月22日（土）ぶんじふれあい市開催のご案内
6月ツイート	【ぶんじch】「コクブン人」のコーナーは第3回目東京経済大学特命講師、株式会社タスクフォース代表取締役鈴木恒雄さんです。 【国分寺市観光協会】東京経済大学で本年度の第2回目のぶんじコンシェルジュ研修を実施中

	【国分寺お店大賞】国分寺お店大賞 2019 の 30 秒版 PR 動画が完成しました。
2019. 7. 4	年間 200 円からできるボランティア保険の資料あります。
2019. 7. 9	7 月 11 日（木）尾崎ゼミによるコラボデモ販売のお知らせ
2019. 7. 18	8 月 3 日（土）恋ヶ窪商店街はあとふるまつり開催のお知らせ
2019. 7. 23	経済学部 鈴木恒雄ゼミと国分寺市商工会の連携による、「こくめし」が開催されます。
2019. 7. 23	夏季休暇期間スケジュールをお知らせします
2019. 8. 1	夏休みに地域活動、ボランティア活動している学生の皆様へ 活動の様子を写真に撮ったら地域連携センターへお持ちください
2019. 9. 19	9 月 16 日敬老の日に、落語研究会がもとまちプラザ演芸場において、落語を披露してくれました。
2019. 9. 20	9 月 30 日（月）第 1 回 CRCcafe 開催のご案内
2019. 9. 26	国分寺市立第一小学校 PTA より、児童の下校時見守りボランティア募集
2019. 9. 26	社会福祉法人 AnnBee より AnnBee 祭りのボランティア募集
2019. 9. 26	国障連運動会のボランティア募集
2019. 9. 26	国分寺市老人クラブ連合会運動会のボランティア募集
2019. 9. 26	サンサンゆめまつりボランティア募集
2019. 9. 30	第 1 回 CRCcafe 開催しました。
9 月ツイート	【こくめし】読売新聞朝刊にてこくめしの記事が掲載されました。
2019. 10. 1	鈴木特別ゼミキニョン班によるチーズタッカルビパンは本日発売です。
2019. 10. 1	10 月 15 日（火）第 2 回 CRCcafe 開催のご案内
2019. 10. 3	10 月 13 日開催 てのは夜市 販売ブーススタッフ募集
2019. 10. 3	ふらっとぱれっと おやこイベントスタッフ募集
2019. 10. 9	10 月 27 日（日）ぶんじハロウィン開催のお知らせ
2019. 10. 9	10 月 10 日（木）尾崎ゼミによるコラボデモ販売のお知らせ
2019. 10. 15	第 2 回 CRCcafe 開催しました。
2019. 10. 18	10/23(水)、10/29(火)、10/30(水)キニョン試食会のお知らせ
2019. 11. 14	11 月 14 日（木）尾崎ゼミによるコラボデモ販売のお知らせ
2019. 11. 27	12 月 1 日（日）「こくベジのじかん」開催のお知らせ
2019. 11. 27	11 月 6 日（金）TKU Unlimited によるフードロスに関するイベント「明日話したくなる日本の食品ロス」開催のお知らせ
11 月ツイート	【国分寺市協働コミュニティ課】12 月 4 日（水）開催「こらぼ de サロン」のお知らせ
2019. 12. 5	12 月 12 日（木）尾崎ゼミによるコラボデモ販売のお知らせ

2019.12.6	12月8日(日)落語研究会による「葵名人会」開催のお知らせ
2019.12.13	12月20日(金)第3回CRCcafe開催のお知らせ
2020.1.7	第3回CRCcafe開催しました。
2020.1.9	1月18日(土)落語研究会によるCELEO寄席が開催のお知らせ
2020.1.22	3月8日(日)「国分寺の未来を考えるシンポジウム」開催のお知らせ
2020.1.23	落語研究会によるCELEO寄席が開催されました。
2020.2.4	2月11日(祝)～19日(水)「国分寺人(ビト)Vol.2写真展」開催のお知らせ
2020.2.13	もとまちプラザまつりボランティア募集
2020.3.16	東京2020大会 国分寺市聖火リレーサポーターを募集します。
2020.3.31	国分寺市聖火リレーサポーター募集停止となりました。

④展示パネルでの情報発信

地域連携センター入口掲示板および地域連携センター内において、学生の活動の様子を中心にパネルにまとめて展示しました。



(5) 地域連携センター運営委員会

	開催日時・場所	議題
第1回	2019年 5月8日(水) 地域連携センター	<p>【審議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 2019年度「国分寺周辺地域活動費助成」の募集について 2019年度「学生の社会貢献活動に対する助成金制度」の募集について 2019年度自己点検・評価について <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会およびフォーラムの開催 国分寺市との連携企画について <ol style="list-style-type: none"> 地域共生推進課 「地域福祉推進協議会」 まちづくり推進課「こくカレ」実施に関わる教室貸出し 協働コミュニティー課「こらぼdeサロン」 西武信用金庫「地域産業応援資金」について 2018年度地域連携センター年次報告書について 東京経済大学地域連携センターのTwitter開設について 地域連携センターによる「こくスマ！」への後援について 各委員報告 その他
第2回	2019年 6月5日(水) 地域連携センター	<p>【審議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 2019年度「国分寺周辺地域活動費助成」の選考について 2019年度「学生の社会貢献活動に対する助成金制度」の選考について その他 <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 2018年度 年次報告書について 東京経済大学・国分寺知己連携推進協議会フォーラムの実施報告 各委員報告 その他 <ol style="list-style-type: none"> 120周年記念事業「(仮)SDGs宣言」について
第3回	2019年 11月20日(水) 地域連携センター	<p>【審議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 2019年度予算要求(案)について 地域産業応援資金(西武信用金庫寄付金)の使途について その他 <ol style="list-style-type: none"> 120周年記念事業「(仮)SDGs宣言」について <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 私立大学等改革総合支援事業「タイプ3(地域社会への貢献)」について 大学基準協会による大学評価(社会連携・社会貢献)について こくぶんじ市民活動センターとの共催「こらぼdeサロン」について こくぶんじ市民活動センター利用団体登録について 西武信用金庫との連携事業「知財活用スチューデントアワード」について 地域連携センター主催昼休み講座「CRCcafe」について 学生の地域活動について 各委員からの報告 その他 <ol style="list-style-type: none"> 創立120周年記念事業「21世紀の多摩学」について 2019年度地域インターンシップ成果報告会について

<p>第4回</p>	<p>2020年 3月17日(火) 地域連携センター</p>	<p>【審議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2020年度事業計画について 2. 2020年度国分寺周辺地域活動について 3. 2020年度学生の社会貢献活動について 4. その他 <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2019年度国分寺周辺地域活動について 2. 2019年度学生の社会貢献活動について 3. 地域連携センター関連イベント等の実施報告 <ol style="list-style-type: none"> ① 西武信用金庫との連携事業「知財活用スチューデントアワード」 ② 共同シンポジウム「第4回こらぼ de サロン・第7回国分寺物語」 ③ セレオ国分寺とのコラボ企画「CELEO 寄席」 ④ 昼休み講座 第3回 CRCcafe 4. 2019年度年次報告書について 5. 2019年度自己点検評価について 6. 2019年度地域産業応援資金（西武信用金庫）について 7. 国分寺駅北口交通広場クラウドファンディングについて 8. 書籍購入について 9. 地域連携センターパンフレット 2020-2021 について 10. 2020年度予算について 11. 2020年度「ぶんじコンシェルジュ事業に関する協定書」について 12. SDGs に関する取り組みについて 13. 各委員報告 14. その他 <ol style="list-style-type: none"> ① 創立120周年記念事業報告
------------	--	--

(6) 地域連携センターイベント

1) CRC カフェ

★第1回★ ボランティアサークル Clover 活動報告会

日 時： 9月30日（月）12：15～12：55

場 所： 地域連携センター

参加者数： Clover 5名

教職員 6名、ボランティア活動センターこくぶんじ 3名

9月30日（月）昼休みの時間を利用して、地域連携センター昼休み講座第1回 CRCcafe を開催しました。国分寺地域で活躍している本学のボランティアサークル Clover の活動報告会で、学生や教職員 14名が参加しました。Clover の活動の中核である、「Green Pride」、「にんじん食堂」、「姿見の池ボランティア」、「東京消防庁災害時支援」、「東経大森の管理作業」、「恋ヶ窪公民館（学習支援、社会科見学、公民館祭り）」について、それぞれのリーダーがパワーポイントを利用して発表を行いました。参加者からそれぞれの活動についての質問や、たくさんのメンバーをまとめるためにどのようにしているのか、ボランティア活動を続けていくためにどのような努力をしているのかなどの質問があり、ボランティアについての知識が深まった講座となりました。



2) CELEO 寄席

★敬老の日寄席

日時：9月15日（日）①13:00～ ②14:00～ ③15:00～

場所：CELEO 国分寺 9階特設ステージ

★新春寄席

日時：1月18日（土）①12:00～ ②13:00～ ③14:00～

場所：CELEO 国分寺 9階特設ステージ

CELEO 国分寺と地域連携センターとのコラボ企画として、毎年、敬老の日、新春のイベントとして落語研究会による寄席を開いています。

★敬老の日寄席

9月15日（日）開催



★新春寄席

1月18日（土）開催



5) こくぶんじ市民活動センター

コラボレーションシンポジウム「こらぼ de サロン」

日時：12月4日（水）17:00～19:30

場所：cocobunji WEST5 階

【第一部】講演：一般社団法人ニッポニア・ニッポン 代表理事 高橋 衛氏

「新しいまちおこしに向けた Nipponia Nippon の取り組みについて」

活動報告①「国分寺物語活動報告 2019」小木ゼミナール

活動報告②「TABLE FOR TWO 活動報告 2019」小木ゼミナール

【第二部】グループディスカッション

テーマ①国分寺物語のこれから

テーマ②TFT をどうするか

テーマ③これからの国分寺を考える

12月4日（水）、cocobunji プラザ、リオンホールで小木ゼミ活動報告を踏まえた、こくぶんじ市民活動センターとのコラボレーションシンポジウムが開催されました。

小木ゼミは、町おこしの事業を行っている一般社団法人ニッポニア・ニッポンの「国分寺物語」の地域サポーターとして活動をしています。他にも TFT（Table For Two）という食堂で対象となる定食や食品を購入すると1食につき20円分が開発発展途上国される活動を大学生協同組合と共同で実施しています。

今回のシンポジウムは一般社団法人ニッポニア・ニッポン代表理事高橋衛氏による「新しい町おこしに向けた Nipponia Nipponn の取り組みについて」の講演のあと、小木ゼミに所属する学生による「国分寺物語」「Table For Two」の2つの活動報告が行われました。活動終了後には、国分寺市民の方々と学生によるグループディスカッションの時間が設けられ、3つのテーブルごとに分かれ各テーマ（①これからの国分寺を考える②国分寺物語③TFT をどうするか）について話し合いました。

小木教授は「地域と大学が連携することはお互いにとっても活力を得る良い機会です。この活動によって国分寺市民でない学生も自身の故郷で還元できる知識と行動力が身に付けられていると感じます」と話しました。小木ゼミ所属の萩原洸太（3年経営）さんは「ディスカッションを通して、地域の方々の国分寺に対する思いを知ることができました。ゼミで育んだ問題意識を学外にアウトプットする良い機会となりました」と話しました。

シンポジウムは、地域の方々と学生が交流する活気あふれる会となりました。



東京経済大学地域連携センターニッポン・ニッポンシンポジウム

こらぼ de サロン&東京経済大学・小本ゼミナール
大学生と創る地域の力 Vol.4

大学生との地域について考えるシンポジウムの4回目は、東京経済大学小本ゼミナールの協力により、同ゼミの活動報告に加え、国分寺物語を運営する一般社団法人ニッポン・ニッポンの最高代表理事に「地域での取り組み」についてお話を伺います。後半のグループディスカッションでは、参加者との意見交換を中心に今後の取り組みについて考えます。ぜひ、ご参加ください。

日時：令和元年12月4日（水）17:00-19:40
 場所：coobun|プラザ リオンホール（無料）

【第1部】講演＆活動報告
 講演：一般社団法人ニッポン・ニッポン 代表理事 高橋 尚
 「新しいまちおこしに向けた Nipponia Nippon の取り組みについて」
 活動報告①「国分寺物語活動報告 2019」（東京経済大学・小本ゼミナール）
 活動報告②「TALK IS FOR TWO」活動報告 2019」（東京経済大学・小本ゼミナール）

【第2部】グループディスカッション
 テーマ①「国分寺物語のこれから
 テーマ②PTI をどうするか
 テーマ③これから国分寺を考える
 各テーマを選んでご参加ください。

【申込】こちらから事前申込センター
 国分寺物語センター | TEL:042-321-1111 | FAX:042-321-1112 | E-mail: kono@kaiyodai.ac.jp



(7) 特命講師の活動実績

経済学部 特命講師 鈴木 恒雄

令和元年度 特命業務の活動実績報告

地域連携センター業務の一環として地域へ本学の学生を送り出し、実学の場を提供すると共に、地域における本学の存在価値の向上を図ることを目的とする。学生が街づくりサポーターとして地域で能動的に活動できるよう構築したプラットフォーム組織「グリーンプライド」を軸足とし、下記のとおり公益性に資する活動を推進している。

記

1. 「グリーンプライド」におけるぶんじコンシェルジュ活動

(1) こくスマ！をサークル組織へ変更

ぶんじコンシェルジュ活動の担い手として起用したこくスマ！イベント実行委員会は、当初の活動目的と相違するため、組織の仕切り直しを図った。ぶんじコンシェルジュ活動の拡充と持続性を担保するべく、こくスマ！をサークル組織へ変更した。4月に新入生の勧誘を行い、約70名を部員として迎え入れた。

(2) ぶんじコンシェルジュ研修

平成31年4月28日に史跡公園で開催された「万葉はなまつり」に約20名のこくスマ！部員が参加し、国分寺市観光協会のガイドによる国分寺の史跡を視察。5月29日と6月17日の2回にわたって新入部員向けのぶんじコンシェルジュ研修を本学にて開催した。昨年度に続き、当観光協会の会長に講師を務めていただき、研修を修了した約50名の学生がぶんじコンシェルジュに認定された。認定されていない学生は初心者バッジをつけて活動に従事している。



観光協会と史跡の視察研修



ぶんじコンシェルジュ研修



ぶんじコンシェルジュバッジ

(3) 国分寺市案内所におけるコンシェルジュ活動の拡大

こくスマ！部員の増加に伴い、平成31年5月から国分寺市案内所におけるぶんじコンシェルジュの常駐を週3日から毎週月～金曜日（年末年始、祝日除く）に拡大した。国分寺駅が利用者で込み合う17時～19時の間、常に3名の学生が道や施設、バス停などを案内している。さらに、活動時間中に訪れた方を対象にオリジナルの「I ♥ 国分寺」缶バッジを差し上げている。

(4) 市内イベントへの参加

国分寺市観光協会が主催及び出店する以下の市内イベントにもぶんじコンシェルジュとして参加し、国分寺の魅力発信及びぶんじコンシェルジュの認知度向上を図った。国分寺に愛着を持ってもら

うため、学生達がデザイン考案した「国分寺ファン」缶バッジ（10種類）をブースで販売し、収益金を国分寺市社会福祉協議会などへ寄付する予定である。

- ①ぶんじふれあい市（6月22日/市役所駐車場）売上：7,200円
- ②国分寺祭り（11月4日/国分寺公園）売上：11,500円
- ③ぶんぶんウォーク（11月16日、17日/国分寺公園）売上：4,000円
- ④こくベジの時間（12月1日/cocobunji プラザ）売上：3,500円



ふれあい市



国分寺祭り



こくベジの時間

(5) 駅チカマップの作成

国分寺市案内所におけるぶんじコンシェルジュ活動では、用意された市内全域地図で道案内しており、駅周辺の詳細な道路まで丁寧に誘導させることが困難であった。コンシェルジュサービスの質向上を狙い、こくスマ！部員によるオリジナルの駅周辺詳細地図「駅チカマップ」を作成。よく尋ねられる施設や店舗、バス停や目標となる交差点などが網羅され、メモ書きもできるマップになっており、案内ツールとして活用している。

2. 「グリーンプライド」における清掃活動

ボランティアサークル clover による清掃活動は毎月2回行なわれてきたが、サークル運営上の問題もあって、毎月1回（第4火曜日）の活動に変更した。毎回30～50名の学生がお揃いのビブスを着用して北口商店街エリアの環境美化、見守りに係る啓発活動を精力的に実施している。

3. こくスマ！による地域活動

葵祭において、葵陵会館1階で不用品のリサイクルマーケットを開催。不用品を持ち込んだ地元住民の方々に物々交換を楽しんでもらった。国分寺市の公式キャラクター「ホッチ」の着ぐるみを参加させたり、オリジナル缶バッジ制作ワークショップを催し、来場した市民の方々とふれあった。さらに、こくスマ！では、国分寺市観光協会と連携したぶんじコンシェルジュ活動の他、国分寺市国際協会とも連携して文化イベントへの協力を推進。令和元年11月17日に国際協会が主催する国際交流フェスタ（cocobunji リオンホール）において、クイズやワークショップといった企画を行った。イベントを通して市内における本学の存在価値を認知してもらった。



リサイクルマーケット風景



缶バッジワークショップ



国際交流フェスタにおけるクイズ



(8) 地域連携センター後援サークル「こくスマ!」の活動報告

①



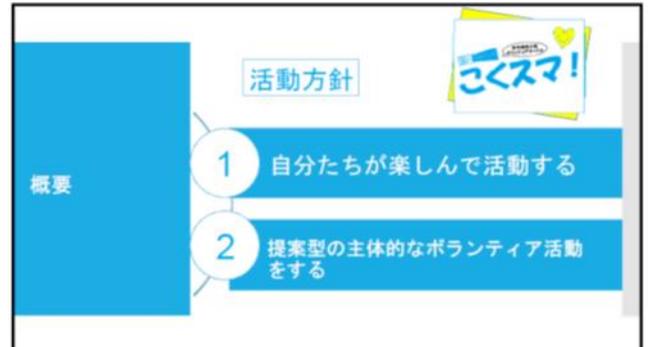
②



③



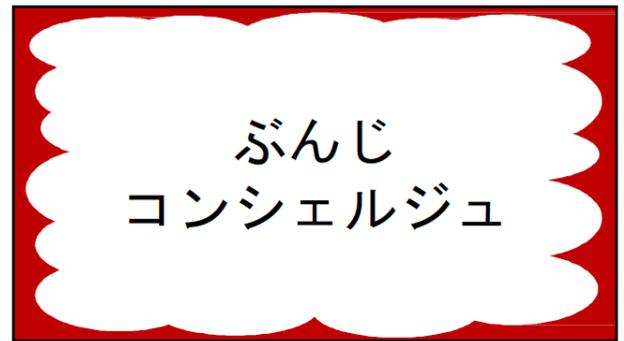
④



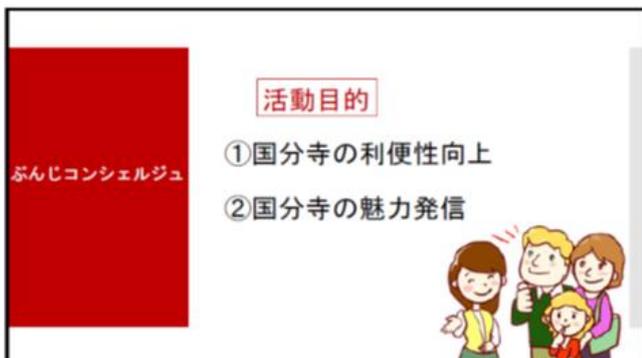
⑤



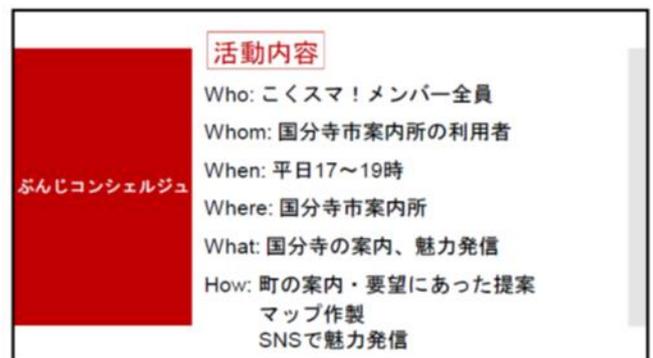
⑥



⑦



⑧



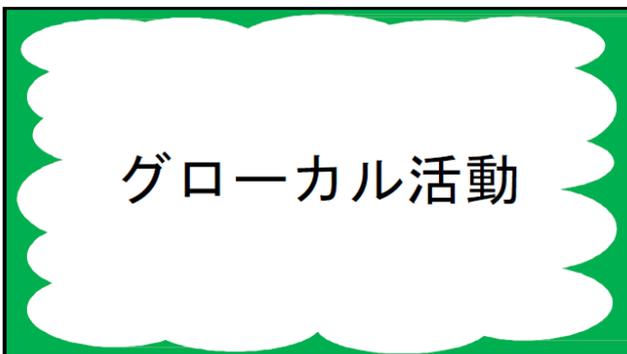
⑨



⑩



⑪



⑫

活動目的

グローバル活動 国際交流や外国人支援が盛んな街にして、誰もが住みやすい街を目指す。

⑬



⑭

活動内容：国際交流フェスタ

グローバル活動

Who: 希望者
 Whom: 国分寺市案内所の利用者
 When: 11月
 Where: リオンホール
 What: 国際交流フェスタの企画・運営
 How: イベントコンテンツの考案、準備
 広報活動

⑮



⑯

活動目的

葵祭

①大学と地域の交流を深める
 ②こくスマ!の活動を学内で認知してもらう

①7



①8

活動内容 わらしべカフェ

Who: 希望者

Whom: 葵祭に訪れた方々

When: 11月初旬

Where: 葵陵会館 食堂

What: 缶バッジ製作体験、フリマ

How: 備品回収⇒フリマ⇒
利益を国分寺市および
国分寺市社会福祉協議会へ寄付

葵祭

①9



②0

Thank you for listening

Ⅱ. 地域連携

1. 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会

1) 協議会運営委員会

平成 31 (2019) 年度開催

会議	開催日時・場所	協議内容等
第 24 回	平成 31 年 4 月 23 日 東京経済大学	<ul style="list-style-type: none"> ○委員交代と委員会の構成について ○専門委員会の平成 30 年度事業報告について ○専門委員会の平成 31 年度事業計画について ○協議会（第 18 回）の開催について ○第 8 回東京経済大学・国分寺地域連携フォーラムについて

2) 国分寺地域産業研究委員会

平成 31 (2019) 年度開催

会議	開催日時・場所	協議内容等
研修	令和元年 5 月 31 日 東京経済大学 進一層館	<ul style="list-style-type: none"> ○地域連携推進協議会フォーラム テーマ:「スポーツによる健康のまちづくり」 ・第 1 部 基調講演 だれもが取り組めるスポーツの意義 ～スポーツでつながる共生社会の実現～ 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会 組織委員会出張講座プログラム ・第 2 部 活動報告 <ul style="list-style-type: none"> ①国分寺市市民生活部スポーツ振興課より 東京 2020 大会を視野にスポーツ振興と健康づくりを 進める 国分寺市の取り組み ②地域における市民が主体となったスポーツの試み <ul style="list-style-type: none"> i) 国分寺市スポーツ推進委員協議会 ii) こくぶんじ地域クラブ iii) 車椅子テニスの会実行委員会 主に高齢者・障害者を対象とした取組事例の発表 ③市在住パラアスリートの活動 日本ボッチャ協会 強化指定選手「唐司あみ」選手の 活動について パネルディスカッション 高齢者スポーツ、障害者スポーツに取り組む団体を交えたディス カッション 質疑応答

3) 国分寺地域インターンシップ・学生地域参加実施委員会

平成 31 (2019) 年度開催

会議	開催日時・場所	協議内容等
第 29 回	令和二年 3 月 19 日 東京経済大学	○委員の変更 ○2018 年度(平成 30 年度)事業報告 ○2019 年度(平成 31 年度)事業計画

4) 国分寺地域総合学習委員会

平成 31 (2019) 年度開催

会議	開催日時・場所	協議内容等
第 27 回	令和元年 7 月 3 日 東京経済大学	○ 2019(令和元)年度委員会名簿の確認 ○ 前回議事録の確認 ○ 2019(令和元)年度第 38 回市民大学講座について ○ 閉講式・開講式について

5)第8回 東京経済大学・国分寺地域連携フォーラム

「スポーツによる健康のまちづくり」

2019年5月31日(金)、東京経済大学大倉喜八郎 進一層館(フォワードホール)で、第8回東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会フォーラムが開催されました。

今回は「スポーツによる健康のまちづくり」と題し、基調講演と国分寺地域のスポーツに関わる方々によるパネルディスカッションが行われました。開会の辞には国分寺市長の井澤邦夫氏が登壇し、「スポーツの楽しさ、素晴らしさを共有できるフォーラムになればよい」と挨拶しました。

第1部は日本福祉大学スポーツ科学部の安藤佳代子助教が「誰もが取り組めるスポーツの意義、スポーツでつながる共生社会の実現」というテーマのもと、基調講演を行いました。講演の中で安藤助教は「スポーツをやっていない・できない健常者や障がい者に対してどのようにスポーツに向き合ってもらえるかがポイントである」と指摘しました。そのうえで、「既存のスポーツのルールを人の特性に合わせる『アダプテッド・スポーツ』の概念がある。どうしたらスポーツを楽しめるか、という考え方が浸透することで地域的・国際的に利益をもたらす」と述べました。

第2部では国分寺市市民生活部スポーツ振興課木村達郎課長、国分寺市スポーツ推進委員協議会の島貫金雄会長、「こくぶんじ地域クラブ」田村文雄会長、「車いすテニスの会」で主宰を務める長谷川頼子氏の4名によるディスカッションが行われました。また、パラリンピック競技「ボッチャ」の指定強化選手に選ばれている国分寺市在住の唐司あみ選手がビデオ動画によりでディスカッションに参加し、意見を述べました。

閉会の挨拶には岡本英男東京経済大学学長が登壇し、「地域の活性化や人々の交流において、スポーツが持つ力は大きい。今回のフォーラムでそれを改めて実感した」と語りました。



2. 国分寺周辺地域活動費助成事業

1) 青木ゼミ 第35回本多公民館新緑祭りへの参加と、ゼミ展示会の開催

経営学部教授 青木 亮

2019年11月16日（土）から2019年11月17日（日）まで

本年度は、国分寺市本多公民館にて、5月17日から19日の3日間行われた新緑祭りへの参加と、11月16日（土）から11月17日（日）の2日間を利用して実施したゼミ展示会を行った。

新緑祭りへの参加は、2年前より本多公民館からお誘いを受けて実施している。前年度のゼミ展示会（東元町まちづくりプラン）の内容を再構成したパネル展示を行った。パネル展示と共に、前年度の1月後半から他の参加団体と協力してポスターの作成に取り組んだほか、前日と最終日には会場設営に協力した。参加団体の構成員に高齢者が多いこともあり、パネルや椅子、机の移動を伴う会場設営作業では、体力のある学生の参加は多くの方から喜ばれた。

11月に行ったゼミ展示会は、2006年から継続しており、本年度は会場である本多公民館で工事が行われた関係で、期間を週末の2日間に短縮の上、場所も集会展示室から会議室Cへ変更しての開催となった。今回は「国分寺駅南口商店街」をテーマに、商店街の現状や活性化に向けた方策について市民の方を対象にパネル展示を行うと共に、商店街魅力マップを作成して会場で配布した。展示内容は例年と遜色ない水準のものに仕上がったと考えるが、来場者数は2日間で23人と、これまでと比べても非常に少ない結果に終わった。

来場者数の減少は、例年と比べて日程が短縮され、会場が奥まった位置に変更になるなど条件が大きく変わったことが一因であるが、ゼミの時間を利用して学生にアンケート結果をフィードバックすると共に、次年度に向けて対応策を検討していく。

現在、2020年度（5月開催予定）の新緑祭りに向け、準備を進めている。



2) 国分寺地域における武蔵野の里山保全普及活動

学務課 石原 融

2019年4月1日（月）から2020年2月29日（土）まで

本学として国分寺市内の自然に関する団体との地域交流活動活性化を支援し、かつ普段では入手することの困難な情報を入手することができた。

各グループ相互の情報交換や、一般の方にとって国分寺を再認識するための情報提供することができ大いに普及活動が出来たと考える。

今年は市民活動センターの移転に伴い、講演会の活動を駅中心に行い交通の便に考慮した講演となった。

昨年に引き続き各団体への講演依頼によって国分寺市内の自然に関する6団体との交流活動が出来たと自負する。

昨年の経験より反省会の開催などにより引き続き交流を行っていきたい。

余談ではあるが、日立中央研究所の社員の方が参加され、社内の自然環境を国分寺市民への広報する活動を模索していることが分かり、協力体制が組めると感じた。

2019年度の講演会結果

10月26日（土）午後2時～3時30分	『緑と自然を育てる会』 13名参加
11月9日（土）午前10時30分～12時	『国分寺のみどりと水辺をはぐくむ会』 13名参加
11月30日（土）午前10時30分～12時	『美しい用水の会』 24名参加
12月14日（土）午前10時30分～12時	『国分寺市にふるさとをつくる会』 13名参加
1月11日（土）午後2時～3時30分	『ミズモリ団』 11名参加
1月25日（土）午前10時30分～12時	『螢よもう一度の会』 25名参加



3) Web サイト「国分寺物語」を活用した国分寺市の活性化

経営学部教授 小木 紀親

開催期間：2019年4月1日（日）から2019年2月29日（土）まで

企画の実施内容と成果については、次のとおりである。

①Web「国分寺物語」(<https://kokubunjimonogatari.com/>)の企画・運営・執筆・情報配信（およそ5日に一度、ゼミ学生によるFacebookやHPを更新）を行い、もって国分寺市の活性化に寄与し、地域貢献を果たした。

②常時、国分寺市役所と連携し、本学の取り組みとして国分寺市の地域活性化に寄与し、地域貢献を果たした。

③Webサイト「国分寺物語」のシンポジウムを開催し（国分寺市「こらぼ de サロン」との共同開催：於 cocobunji プラザホール）、国分寺市民の方々との交友を深めた（12月）。もって本学の取り組みとして国分寺市の活性化に寄与し、地域貢献を果たした。

④国分寺第2中学校において1年生の特別授業内でレクチャー（国分寺物語の取材方法及びこれまでの成果についてレクチャー）を行い、地域貢献を果たした（9月）。

⑤オープンキャンパス内で「国分寺物語」の活動を高校生及びその保護者に発表した（8月）。

⑥国分寺市及び国分寺市観光協会主催「こくぶんじ写真コンクール」の審査員としての参加し（1月）、同コンクール内の「国分寺物語賞」の選考を行った（2月の表彰式プレゼンターとしても出席）。

⑦大学祭（葵祭）にて、ゼミ生が「こくベジ」の販売を行い（じゃがバター）、国分寺野菜（こくベジ）の普及活動を行った。もって国分寺市の活性化に寄与し、地域貢献を果たした（11月）。

⑧「国分寺村誕生130周年記念シンポジウム」のパネリストとしてゼミ生が参加した（2月）。また、その他、各種国分寺市関連のイベントに参加した。もって国分寺市の活性化に寄与し、地域貢献を果たした。

⑨多摩大学「アクティブラーニング祭」にて「国分寺物語」の活動報告を行った（12月）。



4) ダイバーシティ就労モデルの確立とパラスポーツを通じた社会参加支援

経済学部准教授 尾崎 寛直

2019年4月22日（月）から2020年2月14日（金）まで

今年度も、11年目となる地域に住む障害のある人々の社会参加をスイーツ製造・販売とスポーツによって支援するコラボ事業を、①国分寺市障害者センター、②NPO法人オハナ、③国分寺マルイ、という地元の三法人と連携して実施してきた。

そのためゼミのメンバーは、デモンストレーション販売や新商品開発等を統括する「どーむ班」、 「農福連携」の観点から農作業を活かした障害者就労支援を担う「オハナ班」、そして就労が難しい重度の当事者らの社会参加をスポーツを利用して後押しする「太陽班」、国分寺マルイの「共創事業」と連携した事業を行う「マルイ班」の4つのチームに分かれて活動に従事した。各リーダーが運営（計画づくりから予算の執行まで）の判断を行うとともに、各法人のスタッフにそれぞれ班の担当（調整役・指導役）として協力いただき、事業を進めていく体制を整えた。

「どーむ班」では、販売実践やスイーツ製造を通して利用者の方々と密に交流するとともに、より多くの消費者に自主製品を届けるための工夫、販売方法や新商品開発などに学生ならではのアイデアが活かされた。「オハナ班」では、今年も夏のオープンキャンパス「女子カフェ」に提供するクッキー800個を利用者らと一緒に製造することにチャレンジしたほか、農園の作業にもボランティア参加したほか、国分寺市内の各種お祭りにオハナのメンバーと共に出演して、スイーツの販売実践を協同で行った。「太陽班」では、ブラインドサッカー用のボールを利用し、重度の障害のある方でも楽しめる独自の競技を学生が考案し、運動会を開催できた。また、パラスポーツとしても人気のあるボッチャ競技にもチャレンジし、スポーツ活動の楽しさを当事者の方々に味わってもらおうと共に、学生自身も当事者の方々と深い交流ができるようになった。マルイ班では、障害者雇用に積極的な特例子会社を社員の方々と共に見学して学んだり、マルイの「インクルージョンフェス」に参加させていただき、各種の障害者スポーツ競技も体験することができた。

以上のように、障害のある当事者が地域の中でスポーツ活動をしたり、彼ら自身が製造した自主製品の販売実践などを通じて、障害のある当事者の“ソーシャル・インクルージョン”の環境を醸成していく貢献ができたのではないかと考えている。



5) 英語で着付けを学ぼう

全学共通教育センター カレイラ松崎順子

2020年2月22日(土)

2月22日に紅葉亭(殿ヶ谷戸庭園茶室)において「英語で着付けを学ぼう」という企画を行った。

国分寺市国際協会にお願いし、会員の方にお知らせを送ってもらった。送付後すぐに、2名からぜひ参加したいという連絡を受け、最終的には国分寺市国際協会からは日本人5名と外国人2名(アメリカ国籍・フランス国籍)が参加してくれた。その他、近辺に住む本学の卒業生も数名参加してくれた。当日は、男女に分かれ、男性は男子学生が指導を行い、女性は私が指導を行った。何度も英語に合わせながら、着物の着方と半幅帯の縛り方の練習を行い、その後みんなでお茶とお菓子を食べながら、英語と日本語で楽しく座談会を行った。

参加者の感想として以下のようなことがあげられた。

1. 「動作をつけながらこのように英語を学ぶのははじめてで、何年も英会話学校に通っているが、効果がなく、このように英語を学ぶのは楽しく、とてもやる気がでた」という感想があった。動作をつけながら英語を学ぶ教授法にTPR(Total Physical Response)という手法があり、今回はそれを取り入れた指導を行ったが、主に児童に行われるものであるが、大人も楽しく学ぶことができ、効果があることがわかった。
2. 本活動のために英語の着付けの動画を作成した。この動画がとても好評であったが、残念なことに女性用しか作成できなかった。
3. 最後の座談会で「これからも東京経済大学のこのような企画にぜひ参加したい」、着付けができる方は「いろいろお手伝いできると思うので、お声をかけてほしい」などという意見もあり、地域の方々が東京経済大学に関心を持っていることがよくわかった。
4. 参加者からは「ぜひこのような活動を続けてほしい」「次に行くときにぜひ声をかけてほしい」などという感想が多かったので、来年度も同様の活動を継続していきたいと考えている。ただ、今回は2月の末で学生を参加させるのが大変であったため、今後はもう少し早めの授業期間に行い、学生がもっと参加できるようにしていきたいと思っている。



6) 音楽ボランティアを軸にした特別養護老人ホームへの定期的社会貢献の試み

現代法学部教授 西下 彰俊

2019年7月30日(木)から2020年1月17日(金)まで

ここ数年、継続して国分寺市内の介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)「うれしのの里」を拠点にゼミ全体として音楽ボランティアを実践してきた。今年度は、2019年7月30日(火)、2019年12月26日(木)、2020年1月17日(金)の3回、いずれも午後1時45分から2時半過ぎまで1階のデイサービスのフロアで音楽ボランティアを実践した。時間が比較的短く区切られるのは、排泄介助があったり長時間車椅子での座位保持が難しい方が参加されているからである。なお、7月30日は、朝からうれしのの里を訪問し、施設長から特養の概要を説明していただき、次いで同法人に委託された地域包括支援センターの主任から詳しく地域包括ケアについて説明を受けた。その後、特養内の見学もさせていただいた。

12月26日は、皆サンタの帽子をかぶって音楽ボランティアに参加した。

毎回15曲ほど曲を選定し、歌詞カードを作成している。季節ごとに曲を入れ替えるようにしている。ゼミ生20人を5つのグループに分け、前に立って歌うグループ、デイサービス利用者の方や特養に入居されている方に寄り添い、カスタネットを鳴らしながら合唱するグループに分かれる。ローテーションのシフトを組む。また曲のそれぞれについて、コメントをするMCも設定した。

ゼミ生にとっては、合唱を通じて要介護高齢者の方と接する機会は希有であるので、音楽ボランティアを通じた社会貢献を感じていると思われる。また利用者の方々の笑顔も見られ、デイサービス職員の方々からも温かく迎え入れていただけているように感じる。座学では決して得られない感覚であり体験である。



3. 学生の社会貢献活動に対する助成事業

1) 山本聡ゼミナール 食農班

1. 開催日時

2019年8月9日（金）

2. 概要

野菜をモチーフにしたイベントを通して地元野菜に関する知識習得を目指す。

3. 意義

食材を知る・味わってもらふことで産地に興味を持ってもらう試み

4. 広報の方法

カフェといろいろびよりでのチラシ配り、本多図書館でのチラシ配り、山本ゼミ Twitter での広報、保育園でのチラシ配り

5. イベントの流れ

9：50 カフェといろいろびより集合
準備最終確認

10：15 受付開始
参加費回収 ドリンクオーダー 配布物

10：30 イベント開始
挨拶 自己紹介

10：40 2グループに分かれて輪投げを開始

11：00 宝探しに移動

11：30 ゼリー試食会開始
アンケート配布

11：50 記念撮影
次回イベントの宣伝

12：00 イベント終了
忘れ物確認 参加者見送り
見送り後、片付け

イベント以降 「農業のスポーツ化」をテーマにし、大地の力コンペと多摩のまちづくりものづくりコンペ両方へむけたデータ収集のため東大和市の「やすじいの農園」へ9回訪問

6. 当日来客数等

3組7名

7. 当日の内容

わなげ：この野菜はどこの特産物？遊んで学べる輪投げです

お宝野菜探し：お野菜折り紙を見つけると本物のお野菜がもらえるよ！

お野菜ゼリー試食：作り方簡単！地域の野菜を丸ごとゼリー

8. 所感

- ・昨年度の反省点を問題意識と取り違えていた
- ・訴求力がなかった
- ・集客に力をあまり入れることができなかった
- ・ゲームが先行してしまった

※計画書に記載していた高齢者対象の班に関しましては、西武信用金庫主催の知財活用コンテストへの出場のため計画を断念し2名が知財活用コンテストへ、3名がもう一方の班と合流

9. 写真添付



10. その他

上記のイベント後、先生からの指導を受け方針が変わり子どもを対象にしたものから全世代を対象にしたものへと変更しました。そこでテーマも変わり「農業のスポーツ化」というテーマになりました。この研究ではイベントは行わず研究のみを行いました。このテーマで大地の力コンペに出場し一次審査を通過し、二次審査まで進んだが最終審査まで進むことはできませんでした

以上

2) 東京経済大学落語研究会

1. 開催日時

2019年12月8日（日） 開園 16:30 場所 国分寺市立いずみホール

2. 概要

東京経済大学落語研究会が落語家の師匠を一人お呼びし、西国分寺のいずみホールを会場として開催した寄席。例年通り師匠をお呼びして、今年はトリを務めていただいた。

3. 意義

落語会を開くことで地域住民の方々へ娯楽を提供するとともに、落語に興味のある方を呼び込むことで地域発展の手助けとなることを目標とした。

4. 広報

事前にチラシを配布し、泉ホールや慰問先へチラシや日程を掲示していただいた。また、Twitterによる告知を行った。

5. スケジュール

12月8日18時30分より会場し、19時から開演した。終了予定時刻は21時であった。

6. 当日来客数等

42人

7. 当日の内容

一、三枚起請 二代目 雑草むしゃむしゃ

一、権助魚 四代目 三遊間ヒット

一、粗忽長屋 三代目 振られ屋孤独

一、動物園 二代目 にこにこ亭まみー

お仲入り

一、強情炎 二代目 葵亭双葉

一、 八代目 春風亭柳橋

8. 所感

いずみホールの会場をお借りして開いたため、会場が非常に広く、集客に苦労した。

本番ではいずみホールスタッフの方たちとも事前の打ち合わせ通りに進めることができたため、スケジュールに大きな変更なく進めることができた。次回以降も会場スタッフの方たちと事前打ち合わせを綿密に行うことが重要だと感じた。



3) こくスマ!

1. 開催日時

2019年11月1日(金)～11月3日(日) 10:00～16:00

2. 概要

葵陵会館1階カフェテリアでのフリーマーケット、バッジ作成ワークショップとホッチの写真コーナー(2日のみ)、2階でのアナログレコード鑑賞会と休憩スペースの運営

3. 意義

葵陵会館のスペースを利用して地域の方と交流する機会を作る。

フリーマーケットの売上金の国分寺市社会福祉協議会への寄付。

4. 広報の方法

ポスター、看板、チラシ

5. スケジュール

9:00～10:00 会場準備

11:00～16:00 フリーマーケットと物々交換会とアナログレコード鑑賞会を、葵陵会館でそれぞれ同時に行う。

16:00～17:00 片付け

6. 当日来客数等

多くの方にご来場いただきました。

7. 当日の内容

フリーマーケットは、学内で告知、呼びかけなどをし、今年からサークル化して活動を行うためサークルのメンバーの中からも「自分の思い出があり、他の人に使用して欲しいもの」というキーワードで備品回収を行った。バッジ作成ワークショップは今年のコクスマ!が市内の各イベントで行っているバッジ販売をお客さんの好きなようにデザインしてもらおうといったワークショップ形式で行うことによって老若男女多くの方に楽しんでいただけた。ホッチの写真コーナーは国分寺市市政戦略室に事前にコンタクトをとり、2日のみの借用となったがお子様や学生など多くの方と写真を撮ったり交流することができた。

アナログレコード鑑賞会は会場にテーブル・椅子・無料で水を用意して、休憩に来た来場者に音楽を聴きながら寛いでもらった。

8. 所感

こくスマ!がサークル化して初めての団体企画イベントとなり規模も場所も変化する中で変化は多くあったが、想像をはるかに超える数のお客様にご来場いただき楽しんでもらうことができたと思う。普通の物の売買では経験できないコミュニケーションができ、今後様々な活動に活かしていけると思った。また多くの方々の支援のもとこの企画を実行できたことをとても嬉しく感じており、来年以降はいただいた期待をより形にしていくべく新しいことにももっと挑戦していきたい。助成金の使い方についてもフォーマットができたので、うまく活用して活動を広げていく予定。



Ⅲ. 産学連携

西武信用金庫との連携事業「知財活用スチューデントアワード」

11月28日（木）に西武信用金庫本店8階ホールで開催された「知財活用スチューデントアワード予選会」に本学から4チームの学生が参加し、うち2チームが予選を通過し12月14日（土）に開催される本選に進出しました。

知財活用スチューデントアワードは、産学官金の地域支援機関が連携し、学生が大手企業等の開放特許を活用した商品アイデアを考え、これまでの市場にない斬新な商品アイデアを創出し、知的財産を活用した商品開発の成功事例の実現を目指す事業です。

予選会には、本学のほか亜細亜大学、嘉悦大学、昭和女子大学、東洋大学、目白大学の6大学から12チームが参加しました。7月12日のキックオフ会を皮切りに、各チームが事業計画を立て調査・分析を行い、大学ごとに行われたブラッシュアップ会を経て、この予選会に臨みました。富士通株式会社の芳香発散技術をもとにアイデアを発表した、北村真琴・神原ゼミの2チーム（「なると」、「チームKITAKANN」）が本選出場チームとして表彰され、審査員の総評で絶賛されました。

本選は、予選を通過した東京5チーム、茨城1チーム、静岡2チーム、長野2チームの合計10チームが参加しました。

【参加チーム】

活用特許名	印刷画像へのコード埋め込み技術
チーム名	チームTKY(東京経済大学/東洋大学 山本聡ゼミ)
アイデア名	解説付きメニュー

活用特許名	芳香発散技術
チーム名	なると(東京経済大学 北村真琴ゼミ)
アイデア名	Flavor Seal

活用特許名	芳香発散技術
チーム名	チームKITAKANN(東京経済大学 北村真琴ゼミ)
アイデア名	Aloma to wear

活用特許名	スマートクリップ
チーム名	ブル(東京経済大学 北村真琴ゼミ)
アイデア名	NSC(Notification Support Clip)

【全体の流れ】

キックオフ会
7月12日（金）

西武信用金庫本店8階ホールで、大会についての説明、特許提供企業等による説明、質疑応答などが行われました。

アイデア記入シートを地域連携センターに提出

ウェブサイトへアップされ、本エントリーとなりました。

ブラッシュアップ会
11月12日（火）

本学A310教室で、西武信用金庫、中小企業振興公社のご担当者様よりアドバイスをいただきました。



**技術審査会
(予選会)**

11月28日(木)

西武信用金庫小平人材センターで開催された「知財活用スチューデントアワード予選会」に本学から4チームが参加し、うち2チームが本選に進出しました。



**知財活用スチュー
デントアワード
(本選)**

12月14日(土)

富士通株式会社の芳香発散技術をもとにアイデアを発表した、北村真琴・神原ゼミの2チーム(「なると」、「チームKITAKANN」)が本選出場チームとして表彰されました。

◇ ぶんじふれあい市（こくスマ!）

6月22日（土）、国分寺市役所駐車場で第3回ぶんじふれあい市が開催されました。あいにくの雨のなか、国分寺市内で採れた新鮮野菜「こくベジ」の販売、国分寺ならではの景品が当たる抽選会、中国雑技団のパフォーマンスなどが行われました。

本学の「ぶんじコンシェルジュ」も国分寺市観光協会のブースで缶バッジを販売し、118個が売れる大繁盛でした。その売上金は国分寺市社会福祉協議会へ寄付します。



◇ ぶんじチビツ子まつり（尾崎ゼミ、鈴木恒雄ゼミ）

8月1日（木）、国分寺駅北口商店会主催による「第38回ぶんじチビツ子まつり」が開催されました。

尾崎寛直ゼミ生は、焼きそばの販売など模擬店で活躍しました。また、鈴木恒雄ゼミはお店大賞のPRを行いました。



◇ ぶんじバル（鈴木恒雄ゼミ、他）

「学生の地域貢献」、「鈴木ゼミ 国分寺お店大賞チーム・国分寺ポイントチーム」、「鈴木特別ゼミ こくめしチーム」の履修学生 25 名が地域活性化イベント「ぶんじバル」に参加しました。

「ぶんじバル」とは複数店舗分のチケット「ぶんじバルチケット」を購入し、国分寺駅周辺商店街内における参加店舗（飲食業）が特別提供するメニューを食べ歩き、飲み歩きする地域活性化イベントです。今年は過去最多の 49 店舗が参加して、8 月 25 日から 8 月 31 日まで開催されました。

学生たちは、国分寺駅前の特設会場で「ぶんじバル」の運営や案内などで活躍した他、各ゼミの活動を PR しました。



◇ 立川南フェスタ（鈴木恒雄ゼミ）

立川駅南口の商店街で 9 月 23 日（月・祝）、イベント「立川南フェスタ 2019」が行われました。このイベントは立川駅南口エリアを 3 つに分けて、大道芸や音楽ライブなどが行われる地域活性化イベントです。

鈴木恒雄ゼミ生は西エリアにおいて、焼きそばの販売、エコバック作り、スタンプラリーの受付などで活躍しました。



◇ 楽しい落語（落語研究会）

9月16日（月祝）、もとまちプラザ（生きがいセンターもとまち）演芸場において、落語研究会によるイベント「楽しい落語」が開催されました。

観覧された方からは「楽しかった」「次もぜひ実施して欲しい」といった声を頂戴することができました。



◇ ぶんじハロウィン（ボランティアサークル Clover、他）

10月27日（日）、国分寺北口商店街において「第6回ぶんじハロウィン」が開催されました。

「学生の地域貢献」履修生が「IT'S a ハロウィンドーム」のワークショップを行い、ボランティアサークル Clover はエコバック作りなどでイベントを盛り上げました。



◇ 国分寺まつり（鈴木恒雄ゼミ、他）

11月4日（月）、都立武蔵国分寺公園において、第36回国分寺まつりが開催されました。当日は晴天のなか、多くの来場者で賑わいました。

開会式後に中央のステージで行われた「第2回国分寺お店大賞」表彰式は、鈴木恒雄ゼミと国分寺市商工会との協働で企画・運営されました。放送研究会の学生が司会進行を務め、岡本学長、井澤市長及び込山商工会会長から受賞店へトロフィー贈呈が行われました。鈴木ゼミは、表彰式終了後も国分寺お店大賞のブースで表彰店の動画を流したり、投票者のコメントを展示するなどの活動を行いました。

そのほかにも、尾崎ゼミが障害者団体のブースで、課題解決型ボランティアサークルのこくスマ！が国分寺市観光協会のブースで、それぞれ地域団体との協働で活動を行い、国分寺市最大のお祭りを盛り上げました。



◇ わらしべカフェ（こくスマ！）

11月1日（金）～11月3日（日）の葵祭期間中、課題解決型ボランティアサークル「こくスマ！」が葵陵会館で地域活動「わらしべカフェ」を開催しました。

1階のカフェテリア・スペースでは、物々交換・フリーマーケット、缶バッジ作り体験、国分寺市のイメージ・キャラクター「ホッチ」との写真撮影を行いました。2階のラウンジ・スペースに設営した休憩所では、訪れた地域の方々にお水を配りました。なお、フリーマーケット等での売上金は、国分寺市社会福祉協議会へ寄付します。



◇ 国際交流フェスタ（こくスマ！）

11月17日（日）、国分寺市国際協会主催の「国際交流フェスタ2019」がcocobunji プラザのリオンホールで開催されました。

「こくスマ！」メンバーと「学生の地域貢献」履修生が、5月から毎月1回、実行委員会に参加して企画・調整に携わってきました。

当日は、「こくスマ！」メンバーが自ら企画したイベント「世界旅行すごろく」を運営し、「学生の地域貢献」履修生がキッズコーナーを担当しました。また、ベトナム人留学生有志がベトナムの紹介を行い、それぞれ会場を盛り上げました。



◇ ぶんぶんウォーク（小木ゼミ、尾崎ゼミ、こくスマ!）

11月16日（土）および17日（日）、両日とも天候に恵まれたなか、都立武蔵国分寺公園周辺や国分寺駅周辺において、今年で9回目を迎えた「ぶんぶんウォーク2019」が開催されました。

毎年、本学学生が参加しており、今回は小木ゼミが本部等の受付で、尾崎ゼミが障害者団体のブースで、こくスマ!が国分寺市観光協会のブースで、それぞれ地域の方々と協働でお祭りを盛り上げました。



◇ こくめしプロジェクト（鈴木恒雄特別ゼミ）

鈴木特別ゼミこくめしチームでは、国分寺市商工会の協力を得て、市内の飲食店が共通メニューをアレンジして提供するイベント「こくめしプロジェクト」を企画しています。

1回目はお茶漬けを共通メニューとして実施しました。2回目の今年度は焼きそばで、同商工会の呼びかけもあり、昨年参加した店だけでなく、西国分寺駅の周辺店舗なども含め10店が参加しました。ゼミ生は各店に足を運んでイベントの趣旨を説明し、各店に置くメニュー表などを作成しました。各店は、ピザの上に焼きそばがのったものや、ニンニクを使った塩味の「ペペロンチーノ風」など、オリジナルの焼きそばを考案しました。

2月には、商工会、国分寺市経済課において、プロジェクトの報告を行いました。



◇ こくベジのじかん（こくスマ！）

12月1日（日）、cocobunji プラザで「こくベジのじかん クリスマス・マルシェ 2019」が開催されました。

国分寺市の地場農畜産物「こくベジ」を主役にしたイベントで、会場では旬のこくベジ販売をはじめ、オーナメントづくり・たくあんづくりのワークショップ、ミュージシャンの生演奏などが行われました。こくスマ！のメンバーが、国分寺市観光協会との協働事業「ぶんじコンシェルジュ」の活動で、缶バッジを販売しました。今回の売上金も国分寺市社会福祉協議会へ寄付されます。



◇ 明日話したくなる日本の食品ロス（TKU Unlimited）

12月6日（金）、cocobunji プラザ5階のカフェローカルで、キャリアデザインプログラム所属の学生団体 TKU Unlimited と cocobunji プラザが、日本のフードロス問題について親子で考えるイベント「明日話したくなる日本の食品ロス」を共同開催しました。TKU Unlimited は、このイベントの企画から携わっており、当日は3つの企画を運営しました。

1つ目は、日本のフードロスの現状を小学生にもわかりやすくパペットを使って説明。2つ目は、すぐろくの中でクイズに答えたり、これから自分が取り組みたいことを発表。3つ目は、カフェローカルのカレーを参加者全員で食べました。カフェローカルのカレーは食材のロスが非常に少なく、イベントに来てくれた方が驚いていました。

8月にも同様にイベントを開催しており、これからも日本のフードロス問題に取り組む活動を継続的に続けていく予定です。



◇ ”国分寺市の新たなまちづくり”を考えるシンポジウム（小木ゼミ、こくスマ！）

2020年2月14日（金）、国分寺市観光協会が主催する「国分寺村誕生130周年記念シンポジウム」が行われました。シンポジウムは「魅力あふれる新たな“村”づくり」と題して新たな時代へ向けたまちづくりについて話し合われました。

初めの挨拶で観光協会の星野信夫会長は「観光協会においてシンポジウムを開催することは画期的なこと。協会創立以来、初めての試みである。観光協会も今の組織、活動を見直している。その一環としてこのシンポジウムも開催した。なぜ今日にシンポジウムを行うかという、130年前の1890年2月14日、江戸時代からこの地域に存在した10の村々が合併し国分寺村となった記念日であるから。自発的ではない合併であったにも関わらず国分寺村と決まり、今日まで続いてきたことに昔の人へ敬意を表したい」と挨拶を行いました。次に増井有真学芸員が「国分寺の歴史と観光まちづくり」と題して基調報告を行いました。その中で環境人口と交流人口や非日常と異日常に言及し観光地づくりではなく観光まちづくりを目指して行くべきと報告しました。

その後のパネルディスカッションには東京経済大学小木紀親ゼミナールの活動『国分寺物語』プロジェクトで活躍する松本大祐さん(経営2年)と本学の地域連携センター後援の学生団体「こくスマ！」の活動『ぶんじコンシェルジュ』のリーダーを務める小林由浩さん(経営3年)が登壇し、活発な議論が繰り広げられました。

松本さんは「行われている活動は多いが認知度が低いようにみえる。その原因は広報が多くの人に寄り添ったものになっていないためではないか、と考えた。参加する人を増やすため認知度の向上が大切である。いろいろなアプローチで広報し参加者をふやしたいと考えている」と話し、小林さんは「国分寺のいいところは住みやすさだと思う。それは国分寺市民や国分寺とかかわっている人がつくり上げているものだと思う。国分寺は異日常のエキスパートをめざしたらいいのでは」と発言しました。

閉会后、松本さんは「初めての一人での活動で緊張したが、パネリストの方々に支えられ、やりやすかった。人と人との繋がりがテーマとされていたがさらにそれに歴史を加えて考えてみたいと思う」と話し、小林さんは「観光協会の人たちと我々学生の交流機会ができてよかったと思う」と感想を話しました。

シンポジウムの後は懇親会が開催され、登壇者や司会者など関係者がお互いに談笑しあい交流を深めるなど終始和気あいあいとした様子でした。



◇ <社会実験>立川駅南口高架下 "TERASU、プロジェクト (鈴木恒雄ゼミ)

鈴木恒雄ゼミが、立川駅南口でクラウドファンディングを活用した、まちづくりプロジェクトを始動しました。

3月21日(土)、22日(日)の2日間、立川南口まちづくり協議会と協働で、手作りベンチの設置に合わせて、立川で注目されているボードゲームの企画も兼ねた社会実験を開催しました。

一昨年前、鈴木ゼミが提案した「暗く汚いイメージの立川南口駅前デッキ下の空間を市民が誇れる、賑わいと安らぎの空間にしよう」との思いから、防災ベンチの仮設を経てベンチの常設に向けて、協議会やワークショップを重ねてきました。

その結果を踏まえ、「<社会実験>立川駅南口高架下 "TERASU、プロジェクト」を立ち上げ、取り組んでいきます。



学生の地域参加（ボランティア等）

	イベント・行事名	主 催	実施日	参加内容・参加者数等
1	「国分寺物語」	小木ゼミ、 ニッポニアニッポン	4月～3月	小木ゼミ生参加 (ウェブの展開、シンポジウム開催)
2	ぶんじコンシェルジュ	国分寺市	4月～3月	こくスマ！実行委員会 国分寺周辺情報のご案内
3	ごみ拾いボランティア	ボランティアサークル Clover	毎月 第2金 第4火	ボランティアサークル Clover 東経大周辺のごみ拾い活動
4	キニヨン東経大店 販売促進	鈴木特別ゼミ	4月～3月	鈴木特別ゼミ生 アンケートによるニーズ調査 新商品の開発協力
5	街づくりサポーター組織 グリーンプライド	ぶんじマルシェ北口 連合商店会	4月～3月	ボランティアサークル Clover 国分寺駅周辺清掃活動
6	国分寺お店大賞	国分寺市商工会 国分寺お店大賞実行委員会	4月～11月	鈴木恒雄ゼミ生 イベント企画、運営、表彰式
7	姿見の池ボランティア	姿見の池 ホテルの 夕べ実行委員会	5月～3月	ボランティアサークル Clover 草刈り、池の環境整備手伝い イベントの案内、運営手伝い
8	障害者団体とのコラボ 販売実践活動	尾崎ゼミ	5/23、6/13 7/11、10/10 11/14、12/12	尾崎ゼミ生 葵陵会館前で販売活動
9	ぶんじふれあい市	国分寺市商工会、JA 東京む さし国分寺、国分寺市観光協 会	6/10	鈴木恒雄ゼミ お店大賞キャラバン隊
10	自転車安全キャンペーン ボランティア	小金井警察署	6/19	ボランティアサークル Clover 広報物ティッシュ配りなど
11	ちびっこまつり	国分寺北口駅前商店会	8/1	尾崎ゼミ 鈴木恒雄ゼミ お店大賞キャラバン隊
12	恋ヶ窪はあとふるまつり	恋ヶ窪商店会恋まち ストリート実行委員会	8/3	鈴木ゼミ生 模擬店手伝い、設営、 後片付け等
13	CELEO 寄席	CELEO 国分寺	9/15 1/18	落語研究会 CELEO 国分寺特設ステージにおいて、 敬老向けと新春の寄席を披露
14	もとまちプラザ演芸場 敬老の日イベント	落語研究会	9/16	落語研究会による落語披露

	イベント・行事名	主催	実施日	参加内容・参加者数等
15	シネマフェスティバル	国分寺南栄商店会	9/28	ボランティアサークル Clover 会場設営、イベント手伝い
16	第 17 回はばたけ！サンサン ゆめまつり	国分寺市障害者センター	10/20	尾崎ゼミ生 子どもコーナーの手伝い スイーツ販売等
17	ぶんじハロウィン	ぶんじマルシェ実行委員会	10/27	ボランティアサークル Clover 「ハロウィンワークショップ」 「学生の地域貢献」履修学生 イベント「ハロウィンドーム」企画、運営
18	葵祭地域芸術展	葵祭実行委員会	11/1～ 11/3	スタジオ T・H、(フラワーアレンジメント作品展示)
19	こくめしプロジェクト	鈴木恒雄特別ゼミ生	9/17～ 9/30	鈴木恒雄特別ゼミ生 特別メニューやきそば提案、販売促進
20	国分寺まつり	国分寺まつり実行委員会	11/4	ボランティアサークル Clover 鈴木恒雄ゼミ生、放送研究会 お店大賞授賞式、会場アナウンスなど
21	地域経済や都市開発をテーマとした展示（本多公民館）	青木亮ゼミ	11/16～11/17	青木亮ゼミ生
22	第 7 回 防災炊き出し	国分寺市南栄商店会	11/30	ボランティアサークル Clover 非常食と豚汁の配布
23	国際交流フェスタ	国分寺市国際協会	11/17	こくスマ！ 「学生の地域貢献」履修生 イベント企画・運営
24	ぶんぶんウォーク 2019	ぶんぶんウォーク 実行委員会	11/16～17	小木ゼミ生 こくスマ！ 尾崎ゼミ
25	葵名人会(いずみホール)	落語研究会	12/8	落語研究会（+春風亭柳橋師匠）
26	こくベジのじかん	国分寺市	12/1	こくスマ！ 会場案内、設営、イベント
27	こらぼ de サロン 大学生と創る地域の力 vol. 4	国分寺市民活動 センター	12/4	国分寺物語、TFT についてのプレゼン 参加者とグループトーク 小木ゼミ生
28	国分寺市の新たなまちづくり を考えるシンポジウム	国分寺市観光協会	2/14	小木ゼミ生、こくスマ！